



FCP活動 令和5年度実績及び令和6年度計画について

農林水産省
大臣官房 新事業・食品産業部
食品製造課 食品企業行動室
フード・コミュニケーション・プロジェクト事務局



令和5年度 FCP活動実績報告

令和5年度 FCP活動の主な取組内容

1. 若手フォーラム
 - 1 - 1. 令和5年度若手フォーラム
 - 1 - 2. 拡大若手フォーラム（2月26日開催予定）

2. 食の安全・信頼に関する新たな知見の蓄積勉強会

3. FCPの普及活動、交流・活動拡大
 - 3 - 1. 地方・FCP会員への普及活動
 - 3 - 2. 消費者への普及活動

4. FCP活動報告会

令和5年度FCP活動 スケジュール

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|---------------|----|----------------|------------------------|------------------------|------------|------------------------|-----------------------------|-------------------------|-----|--------------------------------|-------------------------------|----|
| FCP会員対象 | | | | | こども霞が関見学デー | | 第1回 新たな知識の蓄積強化会 10/18 | | | | | |
| FCP会員企業等の若手対象 | | | 第1回 若手フォーラム 6/28 | 第2回 若手フォーラム 7/26 | | 第3回 若手フォーラム 9/13 | | 第4回 若手フォーラム 11/16 | | 第5回 若手フォーラム 1/25 1/31 | FCP活動報告会 拡大若手フォーラム 2/26 | |
| 地方に対する活動 | | 福井県立大学 5/24 | | | | | | | | | 2/14 | |



1. 若手フォーラム

趣旨・進め方

● 趣旨

食の安全・安心への取組は、フードチェーン全体の課題であり、また食品事業者にとっては終わりがなく、人材育成や事業者の相互関係づくりによる食品業界の体制の強化が重要

そのため、将来企業等の中心となる若手社員を対象に、リスクマネジメントの手法、規格や事業者の食の安全・信頼への取組事例を学び、食の安全・安心の観点から企業行動を考えることを目的として、FCP若手フォーラムを開催

● 進め方

- 全6回（若手フォーラム5回＋活動報告会）
- 原則対面・WEBのハイフレックス形式で開催
- 参加者：食品関連企業社員、消費者庁・農林水産省職員
企業・部署混成で10～11名のチームを編成
- 各回、1～2名の講師の方から講義を受けた後、ワークショップを行う形で開催
 - 講義：有識者や企業の取り組みの講演
 - ワorkshop・進め方：講義を踏まえチーム内でディスカッション、意見を取りまとめ発表
 - まとめ：年間通しての成果物は第5回で作成、活動報告会にて発表
- 各回のワークショップはファシリテーターが主導し、サポートとして各チームにもチームファシリテーターを配置
 - ファシリテーター：山下 安信氏／株式会社フードサンテーション78
 - 各チームファシリテーター、アドバイザー（チーム順・企業名省略）：
神井 弘之氏、大澤 幸弘氏、渡辺 敏雄氏、折井 真人氏、大西 由美氏、
瀬川 恵寛氏、堀 景太氏、岩井 弘光氏、三森 伸二郎氏、吉野 剛司氏、丹野 美和氏

本年度 若手フォーラム講演内容



| 回 | テーマ・講演タイトル | 講師 |
|-----------------|---|--|
| 第1回 (6月28日) | 食の信頼の確保 《FCPの成り立ちから食品安全文化について学び、参加者同士の交流を深める》 | |
| | 講演1 FCPとは～食品安全文化の醸成～ | 日本大学大学院 神井 弘之 氏 |
| | 講演2 FCP若手フォーラムについて ～若手フォーラムの趣旨・概要、令和4年度成果物の紹介～ | 株式会社フードサンテーション78 山下 安信 氏 |
| | WS 若手フォーラムで学びたいこと | |
| 第2回 (7月26日) | 食品安全と品質 《食の安全の基本となる品質保証を学び、他社との情報および意見交換を実施する》 | |
| | 講演1 品質保証のための規格認証について | The Consumer Goods Forum, Japan 大久保 力 氏 |
| | 講演2 企業の品質保証の取組 | 国分グループ本社株式会社 瀬川 恵寛 氏 |
| | WS 食品安全と品質 | |
| 第3回 (9月13日) | 信頼を高めるコミュニケーション 《エシカル消費（倫理的消費）を促すコミュニケーションを考える》 | |
| | 講演1 食のエシカル消費について考える | 日本女子大学 細川 幸一 氏 |
| | 講演2 お客様と産地をつなぐサステナブルの取り組み | オイシックス・ラ・大地株式会社 東海林 園子 氏 |
| | WS 信頼を高めるコミュニケーション | |
| 第4回 (11月16日) | 社会環境の変化 《多様化する食品産業をあらゆる角度から分析し、食品産業の未来を予測する》 | |
| | 講演 世界の食トレンド～あらゆる角度から～ | Innova Market Insights 田中 良介 氏 |
| | WS 最終成果物作成導入（テーマ決め等） | |
| 第5回 (1月25日) | ◆最終成果物（2月活動報告会にて発表）の作成 ※予備日を1月31日に設定 | |

参加者の声（各回のアンケート調査より）

➤ 勉強会の内容やWEB形式でのコミュニケーション、フォーラムの運営に関する要望等についてアンケート調査を実施

| | |
|------|---|
| 調査対象 | FCP若手フォーラム参加者 |
| 調査内容 | 下記について、5段階評価、自由記入で調査 ◇講演について ◇ワークショップについて 等 |

◇参加者からのご意見（一部抜粋）

【（第一部）講演について】

- 日本国内だけでなく世界基準で認められる認証について初めて意識した。＜第2回＞
- 消費者の「知らされる権利」について、見ようとならないものを知らなければならないということが、今の時代に必要であると感じました。＜第3回＞
- 企業が努力していることをアピールしつつ、まだ足りていない部分も消費者に理解してもらい、誠実に訴求することで信頼を構築していけるのだと分かった。＜第4回＞

【（第二部）ワークショップについて】

- リモートでの参加だったため、皆さんと上手くコミュニケーションをとることができませんでした。
- 少し人数が多く話し合いが難しい一面もありますが、上手く全員の意見を伝えられるようにしたいです。
- お題がざっくりしていて何から始めて何を結論とすればよいか悩みました。
- 回数を重ねるにつれ、深い議論ができています。議題に関すること以外にも、近況（業界の）が聞けて面白いです。＜第3回＞

- ✓ 第一部では、講師の皆様テーマに沿って講演いただき、新たな知見や考えるきっかけを提供できた。
- ✓ ワークショップでは、チーム人数やテーマの設定方法等を見直し、より自由に幅広く意見交換できる場としていく。

若手フォーラムの風景

講演中



全員で大名刺交換会



チームのメンバーと様々なテーマで意見交換



発表中





2. 食の安全・信頼に関する新たな知見の蓄積勉強会

趣旨・進め方

● 趣旨

食の安全を高め、消費者の信頼を得るためには、食品事業者を取り巻く社会環境の変化や消費者意識の変化等を学び、社会環境の変化に応じた対応を実施していくことが重要
そのため、食の安全・信頼に関する新たな知見の蓄積勉強会では、社会の変化に対する企業活動の参考となり得る勉強会を実施

● 進め方

- WEB及び対面のハイフレックス形式で開催
 - ※第1回は社会状況を踏まえWEB形式で開催
- 2～3名の講師の方から講義を受けた後、参加者をグループに分け、ディスカッションを行う形で実施
 - 有識者の方の講演（全体）：食の安全・信頼の向上に関する最新情報
 - 事業者の方の取組事例（全体）：テーマに関する実際の取組事例について
 - ワークショップ（グループごと）：講義を踏まえチーム内で論点について議論していただき、
自社及び業界の課題や取り組みを整理

※ワークショップを円滑に進行するため、事務局が事前にグループを設定

本年度 新たな知見の蓄積勉強会 講演内容



【第1回】

テーマ：日本の食料供給に係る課題と対応を考える

参加者：33社・省庁 40名（傍聴参加含む）



| テーマ | 講演タイトル | 講師 |
|----------------|------------------------------------|-----------------------------------|
| 第1回 (10月予定) | ◆日本の食料供給に係る課題と対応を考える | |
| 日本の食料供給 | 講演1 日本食料事情 ～食料自給率・食料自給力と食料安全保障～ | 農林水産省大臣官房政策課食料安全保障室 企画官 西畑 皓一郎 |
| | 講演2 日本の食と農の未来～持続可能な食卓を考える～ | 千葉商科大学 小口 広太 氏 |
| | 講演3 静岡から日本の一服 [ippuku] を世界へ。 | ハラダ製茶株式会社 田實 菜穂子 氏 |
| | WS 日本食料供給に係る課題と対応を考える | |



3 - 1. 地方・FCP会員への普及活動

◆地方におけるFCPに関する講演

- 地方公共団体等が、その地方の中小事業者、6次産業化に取り組む生産者等を対象に主催する商談会セミナー等において、主催者の協力要請に基づきFCP活動やFCPツール等の講演を実施
- FCP展示会・商談会シート等のFCPツールを依頼に応じて送付
 - ・5月24日 福井県立大学 講義【WEB】
「フード・コミュニケーション・プロジェクトについて」

◆情報発信・収集

- ホームページによる情報の提供
 - ・若手フォーラム・新たな知見の蓄積勉強会等の講演資料等を掲載
 - ・FCPこどもページコンテンツの拡充
- FCPメールマガジン等によるFCP会員に対する情報提供
 - ・FCP活動のご案内（勉強会の参加・傍聴案内など）
 - ・農林水産省の政策や事業等のご紹介

☆FCP通信で配信してほしいこと（要望等）があればお気軽にFCP事務局にご連絡ください！！

3-2. 消費者への普及活動①

◆こども霞が関見学デー

- 各府省庁の業務説明や省内見学など通して、お子様が広く社会を知る機会とする（文部科学省主催）
- FCP参加企業の食の安全・信頼向上の取組を紹介し、消費者との信頼関係を築くために平成24年度から参加
・令和5年度は7月14日～8月31日に実施

○オンラインこども霞が関見学デー（マフ塾）

- 農林水産省各局が、夏休みの自由研究や勉強に役立つコンテンツを特集



◇オンラインプログラムご参加企業（18社）

- ・アサヒグループ食品株式会社
- ・（NPO法人）インターナショナル
- ・キューピー（株）
- ・コープデリ生活協同組合連合会
- ・東海漬物（株）
- ・日清食品HD（株）
- ・（株）ニッポン
- ・フィード・ワン（株）
- ・マルハニチロ（株）
- ・カゴメ（株）
- ・（株）湖池屋
- ・テーブルマーク（株）
- ・有限会社十勝スローフード
- ・（株）日清製粉グループ本社
- ・（一社）日本卵業協会
- ・（株）不二家
- ・まつおか（株）
- ・明治HD（株）

※五十音順・敬称略

次年度もぜひご参加をご検討ください！！ イベント詳細等は次年度の春以降、FCP通信でお知らせいたします☆

3-2. 消費者への普及活動②

◆FCP子どもページ

➤ 昨年作成した子どもページについて、引き続きご協力いただける企業を募集し、コンテンツの拡充を実施！
(参考) https://www.maff.go.jp/j/shokusan/fcp/kodomo_page.html

農林水産省 English ミニサイズ サイトマップ 文字サイズ 標準 大きく

逆引き事典から探す 組織別から探す キーワードから探す Google 検索

会見・報道・広報 政策情報 統計情報 申請・お問い合わせ 農林水産省について

ホーム > 新事業・食品産業 > FCP > FCP子どもページ

FCP子どもページにようこそ!

FCP子どもページでは食品企業のお仕事を見たり体験したりできるよ!

エフ・シー・ピー FCP はFood Communication Project (フード・コミュニケーション・プロジェクト) の略称です。たべものに関係する企業や団体が、たべものを食べるみなさんと、よいコミュニケーションが取れるようにお手伝いするプロジェクトです。

FCPネットワークには、たべものに関係する企業や団体が約2,000社登録しています。その企業や団体とみなさんを『安全と信頼のきずな』でつなぎます。

FCP子どもページでは、いろいろな食品企業のお仕事やたべものについて、楽しみながら勉強することができます。また、食品企業のSDGsの取組についても知ることができます。自由研究にも役立つ情報がいっぱいです!

カテゴリーから選ぶ 参加企業から選ぶ

関心があるものをクリックしてね!
▼カテゴリー別にメニューをご覧になれます▼

| | |
|-----------------------------------|--------------------|
| SDGsってなんだろう? | |
| SDGsって何だろう? | 農林水産省大臣官房新事業・食品産業部 |
| 食の安心を伝える絵文字フードピクト | 特定非営利活動法人インターナショナル |
| ポテトチップスがでるまでとリサイクル | 株式会社湖池屋 |
| いざという時に備える「ローリングストック」について学ぼう! | テーブルマーク株式会社 |
| アマニのひみつ! アマニを使って、朝ごはんやお弁当を作ってみよう! | 株式会社ニッポン |
| SDGs「質の高い教育をみんなに」 | 株式会社まつおか |
| おいしいチョコレートを届けるために~カカオ農家を応援しよう~ | 株式会社明治 |
| 工場見学してみよう! | + |
| しらべてみよう! | + |
| つくってみよう! | + |



随時追加掲載しておりますので、
ご協力いただける事業者様はFCP事務局までご連絡ください☆



4. FCP活動報告会

● 趣旨

食品事業者等の消費者の信頼向上の取組を持続的なものとするため、学識経験者やFCP参加企業による食の安全・信頼向上への取り組みに係る講演と、若手フォーラム参加者の発表を基にした活動報告会参加者による討論会を中心として、当該年度と次年度のFCP活動について報告するFCP活動報告会を開催

● 参加者

- 当年度のFCP若手フォーラム参加者
- FCPのネットワーク参加者登録をしている企業・団体に所属する方

● 進め方

- WEB形式と集合形式を同時開催する、ハイフレックス形式によって開催
- テーマに沿った有識者の講演、事業者の事例紹介等を実施
- 本年度の若手フォーラム参加者が学んだことを踏まえて各班ごとに作成した成果物を発表
- FCP事務局より、本年度の活動実績の報告と次年度の活動計画を説明



令和6年度 FCP活動計画

令和6年度 FCP活動計画（案）

1. 若手フォーラム 全6回（+活動報告会）

- ・ 対面形式で開催 ※オンライン参加は廃止。※社会状況により形式の変更の可能性あり
- ・ 参加者：基本的に年間を通して、対面参加できる方。講演のみオンライン参加可。（傍聴は各回で随時募集）
- ・ 全体ファシリテーター及び各チームにチームファシリテーターを設置し、WSをサポート
- ・ 第1～4回：2部構成。1部／有識者や企業の取組の講演 2部／参加者によるグループワーク
- ・ 第5・6回：チーム毎に最終成果物の作成
- ・ 活動報告会：第5・6回で作成した成果物の発表

2. 食の安全・信頼に関する新たな知見の蓄積勉強会（年3回程度）

- ・ 対面及びWEBのハイフレックス形式で開催 ※社会状況により形式の変更の可能性あり
- ・ 講演後、ワークショップ

3. 拡大若手フォーラム

- ・ 対面形式で開催 ※社会状況により形式の変更の可能性あり
- ・ 当年および過去2年の若手フォーラム参加者、ファシリテーターを参加者とする

4. FCPの普及活動、交流・活動拡大

4-1. 地方・FCP会員への普及活動

- ・ 地方自治体等が開催する商談会セミナー等にFCP事務局が講師を派遣し、FCP活動やFCPツール、コンプライアンス等の講演を実施 ※形式は主催者との相談によって決定
- ・ HPやFCP通信による情報提供

4-2. 消費者への普及活動

- ・ こども霞が関見学見学デー（Webコンテンツ提供）への参加（※形式は主催省庁の指示によって決定）
- ・ FCPこどもページの拡大

5. FCP活動報告会

- ・ 対面及びWEBのハイフレックス形式で開催 ※社会状況により形式の変更の可能性あり。
- ・ 構成は、①有識者や企業の取組の講演 ②若手フォーラム参加者の成果物発表 ③事務局から年度活動報告等

令和6年度FCP活動 スケジュール

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|---------------|----------|-----------------------|----------------|----------------|----------------|------------------------|----------------|----------------------------------|-------------------------|----------------------------------|-------------------------|----|-----------|
| FCP会員企業等の若手対象 | FCP会員対象 | | | | | 第1回 新たな知見の 蓄積勉強会 | | 第2回 新たな知見の 蓄積勉強会 (講演のみ) | | 第3回 新たな知見の 蓄積勉強会 (講演のみ) | | | |
| | FCP活動報告会 | | 第1回 若手フォーラム | 第2回 若手フォーラム | 第3回 若手フォーラム | こども霞が関見学デー | 第4回 若手フォーラム | | 第5回 若手フォーラム (作業日) | | 第6回 若手フォーラム (作業日) | | 拡大若手フォーラム |
| 地方に対する活動 | | | | | | | | | | | | | |
| | | ← 地方講演（先方からの依頼に応じて） → | | | | | | | | | | | |

令和6年度 FCP活動 勉強会テーマについて（案）



◆若手フォーラム

※勉強会の内容は現在企画中です。詳細は次年度以降のFCP通信でお知らせいたします

| 回 | テーマ | 講演 / WS |
|-----|------------------|--|
| 第1回 | 『食』への信頼を創る | <ul style="list-style-type: none">• FCPとは（発足の経緯、趣旨等）• 若手フォーラムの趣旨、概要• チームビルディング• 自己紹介とフォーラムでやりたいこと |
| 第2回 | 食品安全と品質保証に対する考え方 | <ul style="list-style-type: none">• 食品業界の信頼性向上について－5つの基本原則• 組織の内部的取組－協働の着眼点「ベーシック16」• 失敗から学び、食品安全を再構築した企業事例• 「ベーシック16」記入 & 意見交換 |
| 第3回 | 消費者への伝え方 | <ul style="list-style-type: none">• マーケティング等• 消費者購買行動調査• 学び、課題など気づきの共有 |
| 第4回 | 信頼を高めるコミュニケーション | <ul style="list-style-type: none">• 消費者志向自主宣言• 消費者志向自主宣言（消費者庁）宣言企業事例• 信頼を高める企業行動を考える |

令和6年度 FCP活動 勉強会テーマについて（案）

◆食の安全・信頼に関する新たな知見の蓄積勉強会

※勉強会の内容は現在企画中です。詳細は次年度以降のFCP通信でお知らせいたします

| 回 | テーマ | 講演 / WS |
|-----|--------------|--|
| 第1回 | 食品関連企業の現状と課題 | <ul style="list-style-type: none">食品関連事業と2024年問題食品業界の人材不足問題人材不足の解決に取り組む企業事例 |
| 第2回 | 「食」に関する品質保証 | <ul style="list-style-type: none">認証規格全般、個別認証他の業界の品質保証（企業事例）食料安全保障の体制整備に向けた報告書 |
| 第3回 | 食の安全文化 | <ul style="list-style-type: none">食品製造者における品質保証人材の育成食ビジネスの未来考察食品の安全文化とウェルビーイング宇宙食開発からみる、「食」の課題と共創 |